

進捗報告書（実行団体）

事業名:	北海道在住外国人緊急支援プロジェクト
資金分配団体:	特定非営利活動法人ジャパン・プラットフォーム
実行団体名:	公益社団法人北海道国際交流・協力総合センター
実施時期:	2021年6月～2022年2月
事業対象地域:	北海道
事業対象者:	在住外国人

Version 1.2

日付: 2021年9月30日

I. 事業概要

事業概要
<p>当センターが設置する「多文化共生ネットワーク連携推進協議会」を構成する9団体（国際交流団体等）等と連携し、既存のホームページ機能を拡充するなどし、外国人への周知強化、団体間の情報発信や連携強化を行い、次の事業を展開する。</p> <ul style="list-style-type: none">「しごと支援」新型コロナの影響下における外国人の就職活動の環境改善やセミナーの開催や就職マッチングに繋げる。「日本語学習支援」生活に必要な日本語習得により、キャリアアップに繋げ、地域社会とのつながりを保ち孤立を防止する。「食料支援」生活に困窮する外国人に対し食料支援を行い、広大な北海道に散住する外国人への支援プラットフォームの構築を目指す。

II. 進捗報告の概要

総括
<p>上記協議会を構成する9団体との調整に想定より時間を要し、本格的な事業展開は9月からとなった。また、北海道は長期間、まん延防止または緊急事態宣言下であり、市町村間の往来自粛により対面での準備や事業実施の対応等が出来ず、運営に支障が出ている状態が続いていた。10月より緊急事態の措置が解除されたこと、また多少の制限下でも各協力団体と連携し実施可能なことを見出すことができ、全体として日程の遅れはあるが、概ね計画した内容を進めている。</p>

III. 活動実績

アウトプット（今回の事業実施で達成される状態）	進捗状況
<p><しごと支援> 新型コロナの影響下における外国人の就職活動支援を行い、また、外国人労働者の受入環境改善に関するセミナーを開催し、就職マッチングの機会を創出する。</p> <p><日本語学習支援> 仕事や生活などに必要な日本語を習得することで、新型コロナの影響で仕事を失った外国人労働者が、新たな就職へのキャリアアップに繋げ、また地域社会との繋がりをつくる契機とする。</p> <p><食料支援> 生活に困窮する外国人の生活支援をすることで、北海道が安心して過ごせることを認識してもらう。</p>	<p><しごと支援>（函館及び室蘭にて実施）</p> <ul style="list-style-type: none">室蘭：11月に在住外国人向けセミナーを、12月に企業向けセミナーを実施予定。函館：12月に在住外国人向けセミナーを実施。また、12月から有識者会議を実施してから、年明けに企業向けセミナーを1月に実施予定。なお、同日に企業と在住外国人のマッチングも予定。 <p><日本語学習支援>（函館及び室蘭にて実施）</p> <p>函館では、9月からオンライン日本語支援1教室を実施。4名の外国人住民が、12月のJLPT（日本語能力試験）N4合格や、今後の就職やキャリアアップを目指し、学んでいる。</p> <p>また、室蘭では、10月から地域内で慢性的に不足している講師人材を発掘しながら、地域に根ざした持続可能な日本語教室運営を目指すための事業展開を行う。</p> <p><食料支援></p> <p>協力団体への希望調査を経て、2022年1月末までに現時点で全道10カ所で実施する予定だが、今後の状況を見ながら他の地域での実施を検討する。</p> <p>9月8日は室蘭工業大学、9月12日は滝川国際交流協会の協力を得て、計170名の外国人住民へ食料品や日用品など支援物品を配布した。北海道では9月30日まで、緊急事態宣言下での道内各地と札幌間の往来自粛となったことから、各協力団体が実感染防止対策を厳重に行い、準備・運営した。</p>

活動	進捗状況	概要
<ul style="list-style-type: none">日本語支援しごと支援食料支援	遅延あり	<p>7月に同推進協議会構成団体とオンライン会議にて事業の説明をした上で、各団体に希望調査票を記入してもらい、おおよその実施日程を調整。その後、構成団体と調整等を進めることで、今まで以上に地域で活動する各団体と連携を深めることができ、道内に在住する外国人の様子も垣間見れるようになってきた。事業実施がこれからの団体が多数なので、各団体とさらに連携を進めながら、外国人住民支援のネットワーク構築へとつなげていきたい。</p>

IV. 事業実施後（1年以降）に目標とする状態への所感（中間時点）

自由記述	
<p>9月から事業が開始し、新型コロナ下の影響により生活に困窮している留学生やその家族、在住外国人に直接支援物品を手渡すことができた。支援を受けた留学生や在住外国人からは、多くの感謝の声が寄せられた。10月以降も、北海道内各地で事業展開を行い、在住外国人へ必要な支援が届くよう尽力したい。また、当事業を通して、当センターと各地域で外国人支援等を行う協力団体との連携が進み、各地域の在住外国人の実態や協力団体との関係性が見えてきたことから、本事業を契機に、より多くの在住外国人にそれぞれに必要な支援が届き、地域の協力団体と外国人住民とのつながりができ、今後困ったときに相談できるような信頼関係を構築し、外国人住民がより安心して生活できる北海道になることを目指したい。</p>	

V. インプット

		2020年度	2021年度	合計	執行金額	執行率
事業費	直接事業費	¥0	¥14,442,000	¥14,442,000	¥534,659	4%
	管理的経費	¥0	¥3,558,000	¥3,558,000	¥510,145	14%
合計		¥0	¥18,000,000	¥18,000,000	¥1,044,804	6%
補足説明		7～8月に各協力団体との調整を経て、9月から各事業展開を開始している。				

VI. 事業上の課題

事業実施上顕在化したリスク/阻害要因とその対応
<p>新型コロナ感染拡大の影響で、生活困窮に陥る外国人に直接支援を届けることを想定していたが、時勢上、人の往来等に様々な制限がかかり、想定していた内容やペースで事業を進めることが困難となってしまった。一方、各地域で活動している構成団体と連携することで、事業実施日の運営を一任することが可能となり、今、支援を必要としている道内外国人住民に食料などを届けることができ、改めて事業の重要性とネットワーク連携の必要性を認識した。対応としては、制限がある条件下でも、各団体と連携を深めることで可能な限り各事業を計画通りに進め、また実行団体として、状況が許す限り現地に赴き、広大な北海道の各地域に点在する在住外国人のニーズや様子を直に見て知りながら実施を図りたい。</p>

VII. その他

自由記述
特になし

VIII. 広報実績

広報内容	有無	内容
メディア掲載（TV・ラジオ・新聞・雑誌・WEB等）	有	<p>【食料支援（9月8日室蘭工業大学実施分）：テレビ取材1件・新聞3紙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NHK北海道内ニュース報道（9月8日正午）※WEBニュース掲載あり ・北海道新聞胆振板（9月9日朝刊）、読売新聞（9月10日）、室蘭民報（9月12日） <p>【食料支援（9月12日滝川国際交流協会実施分）：テレビ取材1件・新聞1紙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NHK北海道内ニュース（9月13日朝）※WEBニュース掲載あり ・北海道新聞空知板（9月2日朝刊）事業実施内容事前申込み等告知
広報制作物等	有	<ul style="list-style-type: none"> ・食料支援（全体用・9月実施分滝川国際交流協会板チラシ作成） ・北海道国際交流・協力総合センターのホームページ内にて当事業特設ページ増設 URL：https://www.hiecc.or.jp/soudan/aid/ (使用事業費：チラシ印刷にかかる印刷機使用料および消耗品費、郵送費等、ホームページ作成費)
報告書等	無	

IX. ガバナンス・コンプライアンス実績

ガバナンス・コンプライアンス体制	状況	内容
1. 社員総会、理事会、評議会は定款の定める通りに開催されていますか。	はい	
2. 内部通報制度は整備されていますか。	いいえ	